

令和5年度 第1回学校自己評価(生徒)考察

1 回収率

内訳	生徒			保護者		
	学年	生徒数	回答数	回答率	家庭数	回答数
1学年	109	96	88%	91	69	76%
2学年	110	87	79%	107	56	52%
3学年	130	98	75%	130	51	39%

・学年が上がるにつれ、回答率が下がっている。呼びかけ不足だった(1・2・3年の回答率合計は53%)。繰り返しの呼びかけを行いたい。

2 学校重点目標に準拠した考察

〈学習〉

1 あなたにとって、全体的に授業は分かりやすいですか。

1学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	35%	33%	26%
B ややあてはまる	62%	60%	63%
C ややあてはまらない	3%	5%	9%
D あてはまらない	0%	1%	1%

2 あなたは、家庭学習やJIGAKU、スイッチで、学力向上を目指し、自主的に取り組んでいますか。

1学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	49%	43%	15%
B ややあてはまる	30%	42%	54%
C ややあてはまらない	20%	14%	25%
D あてはまらない	2%	0%	6%

2学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	16%	13%	23%
B ややあてはまる	72%	76%	63%
C ややあてはまらない	12%	9%	13%
D あてはまらない	0%	2%	1%

2学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	34%	26%	17%
B ややあてはまる	43%	42%	57%
C ややあてはまらない	21%	21%	21%
D あてはまらない	3%	11%	5%

3学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	20%	23%	19%
B ややあてはまる	65%	68%	72%
C ややあてはまらない	12%	8%	7%
D あてはまらない	4%	1%	1%

3学年

	R3	R4	R5
A よくあてはまる	26%	34%	18%
B ややあてはまる	53%	44%	54%
C ややあてはまらない	16%	17%	17%
D あてはまらない	5%	6%	11%

【考察】

授業の分かりやすさでは、A回答が減少し、B回答が増えている。1, 2学年では、C回答の増加も見受けられる。学習問題と学習課題を明記すること、多様な学習活動を仕組み、メリハリのある展開にすること、振り返りを行うこと等、授業改善を継続する必要があると考えられる。

家庭学習やJIGAKU、スイッチへの取り組みは、C・D回答が増加する傾向にある。学力的に厳しい生徒に対し、今まで以上に家庭学習やJIGAKUに取り組むよう声をかけたり、スイッチへの参加を促したりする必要があるのではないか。

その他の質問項目について(全学年)

質問項目	学習	学校生活	
	話し合いやICT機器の活用	先生方は相談にのってくれる	生徒が中心の生徒会活動
A よくあてはまる	27%	33%	33%
B ややあてはまる	58%	48%	55%
C ややあてはまらない	15%	15%	11%
D あてはまらない	1%	4%	1%

質問項目	学校生活		
	積極的な部活動	進路や生き方について学べる	いじめや差別を許さず生活している
A よくあてはまる	53%	26%	54%
B ややあてはまる	40%	56%	38%
C ややあてはまらない	6%	15%	6%
D あてはまらない	2%	4%	2%

質問項目	学校生活		
	学校は楽しいところですか	学校生活は、安心・安全な環境か	ボランティアや奉仕活動等に貢献しているか
A よくあてはまる	31%	32%	19%
B ややあてはまる	45%	51%	49%
C ややあてはまらない	15%	12%	25%
D あてはまらない	9%	5%	6%

質問項目	学校生活		
	明るいあいさつが交わっている	登下校やチャイム着席等の時間を守っている	授業に意欲的に取り組んでいる
A よくあてはまる	37%	44%	30%
B ややあてはまる	52%	46%	59%
C ややあてはまらない	10%	8%	10%
D あてはまらない	2%	1%	2%

質問項目	学校生活			
	合唱練習を頑張っている	正しい服装を心がけている	清掃に精一杯取り組んでいる	手洗いや歯磨き等の健康管理
A よくあてはまる	51%	59%	46%	42%
B ややあてはまる	40%	34%	48%	51%
C ややあてはまらない	7%	6%	6%	6%
D あてはまらない	3%	1%	1%	1%

【考察】

- ・昨年度と質問項目が変わっているため、単純に経年変化を比較することは難しいが、どの質問項目においても、A回答・B回答の合計が60%を超えていることは、良い傾向と考えられる。
- ・「話し合いやICTを活用した学習」のA回答・B回答が合計90%を超えるような授業を心がけたい。
- ・「いじめや差別を許さない」「安心安全な学校」のC回答・D回答を0%に近づけたい。
- ・「学校は楽しい」は、年を経るごとに悪化し、昨年度は5～6%であったが今年度は9%。留意したい。